

令和7年度

筑波大学大学院

人文社会ビジネス科学学術院ビジネス科学研究群

経営学学位プログラム（博士前期課程）

入学試験問題[小論文]

注意事項（指示に従わない場合は採点の対象とならない場合があります。）

- ・ 問題1 か問題2 のいずれか 1問のみを選択して解答してください。
- ・ 選択した問題の番号を解答の冒頭に明記してください。
- ・ 答案用紙は解答用紙のおもて面のみを使用してください。

問題 1

新しい技術やサービスの導入において、初期段階では政府が介入して規制や事業の支援を行う（あるいは事業自体を国有化する）ことで、その技術やサービスの普及を促進することがあります。その後、自由化や規制緩和、あるいは民営化を進めることで、市場における競争が活発になり、効率化やイノベーションの向上が期待されます。

以下の問いに答えなさい。

問 1)

初期段階で政府が介入して規制や支援等を行い、新しい技術やサービスの普及を促した具体的な事例を一つ挙げ、その事例の背景と概要をできるだけ具体的に説明しなさい。分野は問いません。また、年代や団体名は必ずしも正確である必要はありません。

問 2)

問 1) で挙げた事例において、普及後の自由化や規制緩和がもたらした影響および効果について説明しなさい。

問 3)

自由化や規制緩和によって引き起こされる問題点を説明しなさい。

問 4)

これまで述べた自由化や規制緩和の影響や問題点を考慮した上で、革新的な技術やサービスの導入に関して、政府や企業が留意すべき点や適切な対応策についてあなたの考えを述べなさい。

問題 2

近年、宇宙ビジネスへの関心が高まっています。イーロン・マスク氏率いる米スペース X 社 (Space Exploration Technologies) はニュースでも取り上げられることが増えています。とくに、スペース X 社が開発を進めるスターシップ (Starship) については、2024 年 10 月、スターシップのブースターを空中キャッチする映像が世界中を駆け巡りました。スターシップの再利用を加速させる技術として注目を集めています。

さて、あなたは火星をターゲットとした宇宙ビジネスへの参入を目論む企業の経営企画を担っています。火星については次のようなことが知られています。

- ・火星の環境は地球のそれに最も似ていると考えられており、火星の重力は地球の 1/3 程度と言われています。
- ・地球と火星の平均距離は、2 億 2,500 万キロメートル程度です。
- ・地球と火星を往復するのに、2 年程度必要と考えられています。
- ・火星の大気は 96%が二酸化炭素で、酸素は 0.145%程度です。
- ・火星の最高気温は 30 度、最低気温は-140 度、平均気温は-63 度です。

問1. あなたはどのような事業で火星をターゲットとした宇宙ビジネスに参入することが良いと考えますか。事業とその内容を、参入する理由や背景とともに具体的かつ簡潔に説明してください。

問2. あなたが考える事業で火星をターゲットとした宇宙ビジネスに参入することを、トップマネジメントへ提案する機会を得ました。当該事業が当該企業にとって投資するに値するものであることを説明し、事業を推進するための当面の予算を獲得したいと考えています。この事業を進めるための課題を 3 つ挙げ、それぞれの具体的な内容と事業の推進上重要であることを簡潔に説明してください。説得力のある説明を行うために、収集するデータとその収集方法、分析方法等についても触れてください。